

年 組 名前:

問1

武井さんは着物を
どんなものにリメイク
(仕立て直)しているか、
教えてください。

「 」
「 」
「 」
「 」

問2

武井さんは母から
着物を譲り受けましたが、
「兄姉から弟妹へ」
「年長者から年少者へ」
「親から子へ」譲り渡された
衣類などのことを

何と言いますか。①から④のうち正しいものに○をつけてください。

「 」① おすそ分け 「 」② お下げ 「 」③ お下がり 「 」④ お墨付き

問3 あなたは、リメイクすることの良さは何だと思えますか。

.....
.....

主婦の武井さん ネット販売で注目



着物を洋服にリメイクしている武井さやかさん
甲府市宝工丁目

神奈川県出身の武井さんは
夫の転勤に伴い、2013年
春に甲府市に移住した。
着物のリメイクは、18年春

「生かす楽しさを伝えたい」

甲府市宝工丁目の主婦武井さやかさん(41)は、不用な着物を女性服に仕立て直すリメイクをしている。2年前から約30点をインターネットで販売。「和」と「洋」の組み合わせが注目を集めている。独自に調達した生地を加工するほか、希望者から寄せられた素材を使う注文服にも対応している。

着物リメイク 洋服に



小紋と羽織を組み合わせたスカート

に母から古い着物を数着譲り受けたことがきっかけ。着る機会が少ないことから、リメイクの方法を紹介している本などを参考に、自宅のミシンで自分のスカート、バッグに加工したという。
19年5月から販売をスタート。手作りの雑貨や服飾品などを紹介できる専用のアプリを活用し、ネット販売を始めた。使う着物素材は花柄入りの黒留め袖や小紋、振り袖など。型紙を作り、ワンピース、スカート、パンツに形を変えている。「着物特有の優雅な柄が最大限に生かせるよう、意識しながら裁縫している。」
ネットでは素材を仕入れて仕立てている(武井さん)という。着物の洋服を作っているほか、「たんすにある思い出の着物で洋服を作ってほしい」という注文も。販売先は、東京や神奈川など県外に住む中高年の女性が多いという。商品を購入したフェイスブック利用者からの口コミで、別の利用者が購入するなど会員制交流サイト(SNS)を通じて注目されつつある。
今後は服飾作家らが集まる県内のイベントに参加し、作品を紹介する。武井さんは「洋服文化が主流の現代で、古き良き着物の素材を生かす楽しさを伝えたい」と話している。

(2021年1月26日付 山梨日日新聞17面)